

県道綿貫篠塚線（東小泉工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

電線を地中化して
電柱を撤去します

地元の声

- ・狭い歩道のなかに電柱があるため、通りづらい。(地元住民)
- ・高崎市と邑楽町を結ぶ幹線道路であるため、災害時も通れるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 邑楽郡大泉町東小泉
- 事業内容: 電線共同溝 延長1,800m
- 事業期間: 平成30年度～
- 現在の交通量: 14,614台/日(自動車) (R3年度)
48人/12時間(歩行者) (H27年度)
154人/12時間(自転車) (H27年度)

事業前

- ◆ 電柱が歩行者の通行を阻害し、歩きにくい状況です。
- ◆ 災害時に電柱が倒壊し、道路を寸断するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

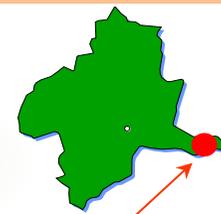
- ◆ 道路上の電柱が無くなり、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されます。
- ◆ 災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ

| 成果を示す項目 | 実施前 |
|-------------|-----|
| 歩行空間を阻害する電柱 | あり |
| 電柱倒壊のおそれ | あり |

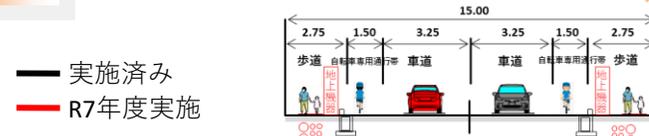
| 実施後(目標) |
|---------|
| なし |
| なし |



事業位置
大泉町



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は北側の本体工事及び側溝布設替工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●



● 事業完了